



B-Max Racing Team プレスリリース

2020年10月14日

レッドブル&アルファタウリ F1 テストドライバー、セルジオ・セッテ・カマラが Buzz Racing with B-Max から SF 菅生大会に出場！

各位

B-Max Racing 株式会社（本社：神奈川県綾瀬市：代表取締役 宮田雅史）は、来る10月17~18日に宮城県・スポーツランド SUGO で開催される全日本スーパーフォーミュラ第3戦に、レッドブル&アルファタウリ F1 チームのテスト&リザーブドライバーでもあるセルジオ・セッテ・カマラを起用することをここに発表させていただきます。

今年、全日本スーパーフォーミュラ選手権に Buzz Racing with B-Max と GOLDEX Racing with B-Max として2台体制で参戦する B-Max Racing Team は、50号車にはレッドブル F1 チームとアルファタウリ F1 チームのテスト&リザーブドライバーを務めるセルジオ・セッテ・カマラを起用、51号車には昨年全日本 F3 選手権で活躍したシャルル・ミレッシを起用しての参戦を予定していました。しかし新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として実施された外国人の入国制限により、開幕戦直前まで関係各方面との粘り強い交渉を続けましたが、両ドライバーとも開幕戦参戦が叶いませんでした。

チームは第1戦に関しては、50号車のメインスポンサーでもある Buzz & Co Asset Management の推薦もあり、名取鉄平を起用する1台体制を敷きました。第2戦では2017年度全日本 F3 チャンピオンでありスーパーGTでも活躍する高星明誠を起用しました。

そして10月1日から政府の規制緩和によって条件付きで外国人の入国が許可されたことと、F1のレーススケジュールと重ならないこともあって、今大会から当初の予定どおりセルジオ・セッテ・カマラを起用してチャンピオンシップを戦うこととなりました。

シリーズは有効ポイント制となったこともあり、残り5戦をセルジオ・セッテ・カマラで戦うことでチャンピオンシップを狙う意気込みです。51号車のシャルル・ミレッシは今回も参戦は叶いませんでしたが、特別 VISA 取得のうえ、オートポリス大会から参戦を予定

しております。今回も Buzz & Co Asset Management 様、GOLDEX 株式会社様のご理解・ご協力を得たうえで、2台体制を1台に絞ってその力を集中して、全力でセルジオ・セッテ・カマラのサポートに徹する所存です。Buzz Racing with B-Max とセルジオ・セッテ・カマラの活躍にご期待ください。



●セルジオ・セッテ・カマラのコメント

「日本に戻ってこれることができ、Buzz Racing with B-Max より全日本スーパーフォーミュラ選手権に参戦できるチャンスを頂けたことを、大変嬉しく思います。開幕からの2戦を失ったことで、厳しい戦いになるとは思いますが、自分自身のポテンシャルとチームのポテンシャルを信じて疑いません。組田オーナーのご期待に応えるべく、また僕の参戦にあたってご協力、ご尽力いただいた皆様のご期待に応えるべく、最高の仕事をしてみせます。皆さん、応援よろしくお祈いします」

●長谷川謙一総監督のコメント

「昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響で、海外からのドライバーが来日できない状況が続いていまして、開幕戦、第2戦とスポット参戦のドライバーが頑張ってくれました。今回の菅生大会より、レギュラードライバーのセルジオが来日でき、参戦可能になりました。この日を待っていたので、大変嬉しく思います。有効5戦と、もはや1戦も落とせませんが、チャンピオン獲得の可能性もあります。チーム全員でセルジオをバックアップし、押し上げていきたいと思ひます。セルジオのキレた走りを楽しみにしててください！引き続き、応援よろしくお祈いします」

●本山哲監督のコメント

「開幕前の合同テストから、彼の速さと適応能力の高さは際立っていました。コロナウィルス感染を避けて、たった独りで日本のホテル暮らしをしていた精神力の強さもハングリーさも素晴らしいと思います。F1 開幕戦と共にレッドブルに呼び戻されてヨーロッパで帯同したおかげで、逆に日本に入国ができなくなりましたが、F1 に乗るチャンスが1%でもあれば、それを選ぶドライバー心理は理解できますし、その間にもフォーミュラEに参戦するなどハングリーさは相当なものです。ようやく日本に戻ってこれた彼と一緒に戦う菅生は、自分にとっても楽しみです。ヨーロッパスタイルの菅生は、彼の日本デビュー戦にふさわしいレースになると期待しています」

●B-Max Racing Team 組田龍司代表のコメント

「今年は自分がレーシングチームをやってきた中で、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による外国人の入国制限という、これまでにない厳しい状況の中でのシーズン開幕となってしまいました。しかし努力のかいもあって、こうしてセルジオ・セッテ・カマラとの最初のレースを戦う日がやってきました。F1 テスト&リザーブドライバーであり、来年のF1 に最も近いポジションにいる彼の実力を、思う存分発揮してもらえる体制を整えたいと思っています。51 号車のシャルル・ミレッシに関しては今回も残念でしたが、誰を責めることもできません。現実に日本という国が設定した新型コロナウイルス感染拡大防止対策のガイドラインを守り続けながら、彼の参戦が実現することを待ち望んでいます。とにかく過去にも外国人が活躍してきた SUGO で、優勝を狙って頑張りたいと思います」

■このリリースに関するお問い合わせ：有限会社ランブラス info@ramblas.co.jp